

計画の名称	川添公園機能再編事業													
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	高槻市													
計画の目標	川添公園は、多目的に利用できるグラウンドや複合遊具などがあり、小さな子供から高齢者まで多くの利用者により賑わっている一方、各世代の利用の輻輳、幼児用の遊び場の不足などが課題となっている。 川添公園の敷地の一部に消防署が移転されることに伴い、公園の減少分を隣接地に確保するとともに、公園全体を再整備する。 再整備において、幼児、児童向けの遊具や広場等の公園施設を適切に配置することにより、多世代が共存し、これまで以上に誰もが楽しく安全に利用できるよう、公園の機能の再編を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		200	A	200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年度当初		令和4年度末
1	再整備を実施した公園における利用者数の増加			
	再整備を実施した公園における利用者数の増加 （公園利用者増加率）＝{（再整備後の1週間における定時の公園利用者数）－（再整備前の1週間における定時の公園利用者数）}／（再整備前の1週間における定時の公園利用者数）×100	0%	%	10%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	高槻市	直接	大阪府高槻市	-	-	川添公園機能再編事業	川添公園の都市公園ストックについて、高齢化社会や子育て支援を目的とした機能の再編を図る。	高槻市	■					200	-	
											小計						200		
											合計						200		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高槻市社会資本総合整備計画評価委員会	令和5年12月8日
	公表の方法
	高槻市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備にあたり、地域のニーズや公園利用に関する課題を的確に把握し、新たに設置する公園施設の種類や配置を決めるとともに、遊具や広場についても幼児・児童及び高齢者向けの遊具をエリア分けして配置することで、これまで以上に誰もが安心して遊び、憩える空間を創出している。 特に、以前は少なかった親子連れや小学校低学年の子どもの利用が増え、より多世代が利用しやすい公園として整備されている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	グラウンドに雨水流出抑制施設（オリフィス柵）を設置することにより、周辺地域の浸水被害軽減に寄与している。 公園出入口を従来の2箇所（北・南）から3箇所（北・南・西）とすることにより利便性の向上だけでなく、一時避難地としての機能が向上した。 樹木の更新や施設配置の見直しにより、公園内の死角を減らすことで、明るく開放的な公園となり、防犯性が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、公園利用者が安全・快適に利用できるよう、適切に維持管理を行う。
公園の南側に消防署（令和6年度完成予定）、北側に（仮称）地域共生ステーション（令和10年度完成予定）が整備される中、各々の施設との相乗効果が生まれるよう関係機関との連携を行う。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	10%	設置した遊具等のニーズが想定していた以上に多く、目標値を大きく上回った。
	最 終 実績値	72%	